

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	20
2. 大学等名	山口大学
3. テーマ	I・II複合型
4. 取組学部等名	人文学部、教育学部、経済学部、理学部、医学部、工学部、農学部、 共同獣医学部、国際総合科学部
5. 事業期間	平成26年度～令和元年度（6年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	（398文字）
<p>本事業は、今進行中の「山口大学改革プラン」を加速させる教育改革の実行である。正課教育と正課外教育の共創により、共通教育を中心としたアクティブ・ラーニングを組織的に推進し、次の時代を切り拓く人材として必要な力「山口大学生コンピテンシー」の育成を保証するため、先導的な学修成果可視化モデルの構築を行い、学生の学びの好循環を創出する。テーマIでは、シラバスの可視化を通じたALポイント認定制度導入、AL推進チームによるFD専門集団形成、教員にインセンティブを与えるALベスト・ティーチャー表彰を行う。テーマIIでは、学修到達度調査・学修行動調査・ルーブリック評価を全学的に推進し、各データを活かした直接評価・間接評価統合型学修成果可視化モデルを構築する。高等教育機関、学協会等と連携し、学士課程教育の質保証の新しい"カタチ"を示すことは、本学の特色や強みの向上だけでなく、我が国高等教育全体に与える影響は大きい。</p>	